

# 2015

## 社会・環境報告書

SOCIAL AND ENVIRONMENTAL REPORT

### 綜研化学株式会社



#### 表紙の絵について

本報告書の表紙絵は、障がい者ライブラリー「アートビリティ」に登録されている、西垣豊さんの「ひまわり」を使用させていただきました。



#### ●アートビリティ

社会福祉法人東京コロニーが、障がい者アーティストの自立・自活支援を目的に設立したアートギャラリー。作品の使用料がアーティストに還元されています。

#### 西垣豊(にしがき ゆたか)

1947年、神奈川県生まれ。神奈川県在住。動物をモチーフとしたファンタジックな作品や、植物や自然風景を細密なタッチで描いた作品など、そのオリジナリティ溢れる作品は、高い支持を受けている。また古切手を使用した「はり絵」作品なども制作し、創作意欲溢れる活動を展開している。1992年、「第4回アートビリティ大賞」にてアサヒビール奨励賞受賞。1993年、「第5回アートビリティ大賞」にて大賞受賞。

お問い合わせ先

#### 綜研化学株式会社

総務人事部、安全・環境・品質保証室

〒171-8531 東京都豊島区高田三丁目29番5号

TEL.03-3983-3171 FAX. 03-3988-9216

URL : <http://www.soken-ce.co.jp>

e-mail : [soken@soken-ce.co.jp](mailto:soken@soken-ce.co.jp)



この社会・環境報告書には、有害な揮発性有機化合物(VOC)成分が含まれていない植物性インキ、印刷時に浸し水を使用せず同じくVOCを大幅に低減する水なし印刷が採用されております。

## はじめに

当社グループは、地球環境保全のために、事業活動において地球温暖化防止と資源循環に積極的に取り組む環境経営を進めており、同時に、企業としての社会的責任を担うべく、法令を遵守し、内部統制システムを充実させ、社会貢献を行なうことなどで、社会の公器にふさわしい企業体質の構築に努めています。

本報告書において、その進捗状況をステークホルダーの皆さまにご報告するとともに、改善のための材料とし、今後の取り組みへの糧としていきたいと考えています。

### 対象範囲と期間

本報告書は、当社グループ国内事業拠点（綜研化学、綜研テクニクス）の活動状況を掲載しています。特集ページにおいては、海外グループ会社の取り組みも一部紹介しています。

実績データおよび取り組み内容は、2014年度（2014年4月1日から2015年3月31日まで）を対象とし、組織・体制などは2015年6月現在のものを掲載しています。

### ガイドライン

本報告書の作成にあたっては、環境省「環境報告ガイドライン2012年度版」を参考にしています。

### 目次

はじめに	2
トップメッセージ	3
綜研化学グループ	
経営理念・倫理綱領・会社概要	4
グループ概要	5
特集 地球への思いやりを 「開発」と「改善・工夫」に込めて	6-9
社会的側面	10-14
お客様・お取引先の皆さまとともに	10
株主・投資家の皆さまとともに	11
地域の皆さまとともに	12-13
従業員とともに	14
環境的側面	15-21
環境負荷低減のための活動	15
環境中期計画	16
環境マネジメントシステム	17-18
環境配慮型製品	18
地球温暖化防止	19
化学物質による汚染防止 および環境リスクの低減	20
サイトデータ	21
コーポレート・ガバナンス	22-23

## トップメッセージ

当社グループは、「小なりとも最優の会社となって社会に貢献しよう」という創業時の精神の下、豊かな社会の実現に貢献すべく、国内3拠点およびアジアでの5つの関連会社によって、ケミカルズとエンジニアリング技術を活かした製品やサービスをお客さまにご提供できるよう努めております。

2014年度は、連結中期経営計画「New Value-2016」の初年度として、「アジアで、なくてはならない企業」になるべく、環境変化に強い事業構造への転換を目指し、生産合理化のための国内生産子会社の吸収合併と研究開発体制強化のための組織改編を行いました。また、新規事業であるナノインプリントの事業化促進に注力するとともに、中国・東南アジア市場での事業拡大に向け、中国の新拠点である綜研高新材料（南京）において、2015年の本格稼働に注力してまいりました。

当社グループは、企業としての社会的責任を果たし、ステークホルダーの皆さまからの信頼と共感を得られる経営を目指し、公正な内部統制システムの構築とその適切な運用の企業統治体制の整備を進めております。また、善良なる企業市民として、各事業所におけるボランティア活動やイベントへの参加などを通し、地域との交流を行なうとともに、災害時における地元消防団への協力や生活・防火用水などの提供を通し、地域の皆さまとの共生にも努めております。従業員に対しては、何よりも働きやすい職場環境を整え、心と体の健康を保つことにより、個人が持てる能力を十分に発揮することこそ、経営理念にある「働く喜びの実現」に繋がると考え、ワークライフバランスの向上を目指した諸施策の実施や、心身のケアにも取り組んでおります。

環境問題に対しては「環境方針」のもとに、安全操業と環境保全に積極的に取り組み、安全で環境にやさしく、安定した品質の製品をお届けするための技術開発も進めております。今回の特集では、当社グループの環境配慮型製品や、環境負荷低減を実現した生産技術をご紹介します。製品開発から生産設備建設までを行なっている当社グループの強みを生かした、コンパクトかつ、エネルギー消費量の削減を実現させた次世代型の生産技術開発であります。

2015年度は、「ステークホルダーの皆さまに満足していただける価値創造」の実現に向けて、綜研化学グループが培ってきた技術やノウハウの総力を結集・融合させることで、製品や事業創出などの新たな価値創造を図り、従業員一丸となって目標達成に邁進するとともに、社会の公器としての企業の責任を果たし、皆さまからの信頼とご期待に応えるべく努力してまいります。

今後とも、一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
逢坂 紀行

## 経営理念

- 一、私たちは常に誠実であるとともに創造と工夫に情熱と責任を持って挑戦しつづけます
- 一、地球環境の保全を指向しつつ社会に役立つ革新的製品を提供します
- 一、お客様には心からの満足を株主の方々には共感をそして私たちは働く喜びを実現していくことに最善を尽くします

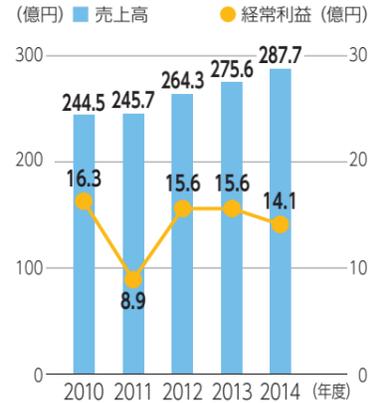
## 倫理綱領

1. 法令を遵守し、社会的規範や良識に基づいて行動する。
2. 人格・人権を尊重し、不当な差別を排除する。
3. 国内外を問わず、その土地の文化や慣習を尊重し、地域との共存共栄に努める。
4. 安全確保と地球環境保全に積極的に取り組む。
5. あらゆる反社会的勢力からの不法・不当な要求には応じず、一切の関係を遮断する。

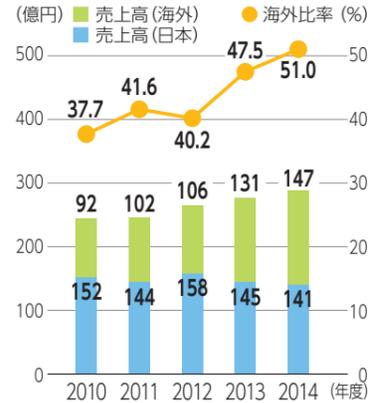
## 会社概要

商号 綜研化学株式会社  
Soken Chemical & Engineering Co.,Ltd.  
創立 1948年9月2日  
資本金 33億6,156万円  
株式 東京証券取引所  
JASDAQ(スタンダード)(コードNo.4972)

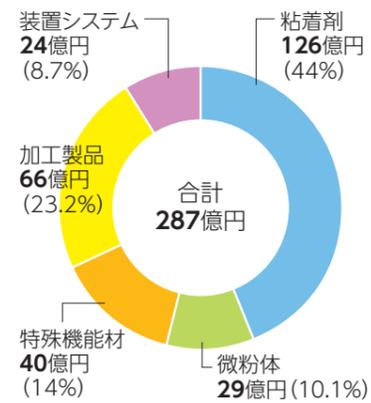
### ■売上高・経常利益



### ■海外売上高比率推移



### ■事業別売上高



### ■当期純利益



## グループ概要

### 1 綜研化学/本社



**所在地**  
東京都豊島区高田3-29-5  
**生産・販売品目**  
アクリル系粘着剤・機能性高分子  
有機微粒子・粘着テープ・  
ナノインプリント  
**従業員数**  
綜研化学:353名 本社:68名

### 綜研テクニクス

**所在地**  
東京都豊島区高田3-29-5  
**生産・販売品目**  
熱媒体・熱媒ボイラー・プラント  
エンジニアリング・メンテナンス  
**従業員数**  
50名

### 2 綜研化学/浜岡事業所



**所在地**  
静岡県御前崎市池新田8665-1  
**生産・販売品目**  
アクリル系粘着剤・機能性高分子  
**従業員数**  
80名

### 3 綜研化学/狭山事業所



**所在地**  
埼玉県狭山市広瀬東1-13-1  
**生産・販売品目**  
アクリル系粘着剤  
機能性高分子・有機微粒子  
**従業員数**  
205名

### 4 綜研化学(蘇州)



**所在地**  
中国江蘇省蘇州市工業園区  
星龍街271号  
**生産・販売品目**  
機能性高分子・有機微粒子  
**従業員数**  
133名



### 5 寧波綜研化学



**所在地**  
中国浙江省寧波市大榭開發区  
榭西工業区東湖路7号  
**生産・販売品目**  
アクリル系粘着剤・粘着テープ  
**従業員数**  
321名

### 6 綜研化学アジア



**所在地**  
700/699 Moo.1 T.Phanthong,  
A.Phanthong Chonburi Province  
20160,Thailand  
**生産・販売品目**  
アクリル系粘着剤・粘着テープ  
**従業員数**  
64名

### 7 綜研高新材料(南京)



**所在地**  
中国江蘇省南京市六合区  
南京化学工業園区崇福路300号  
**生産・販売品目**  
アクリル系粘着剤・機能性高分子  
**従業員数**  
65名

### 8 盤錦遼河綜研化学(持分法適用関連会社)



**所在地**  
中国遼寧省盤錦市興隆台区  
工業開發区  
**生産・販売品目**  
熱媒体・熱媒ボイラー  
**従業員数**  
110名

## 綜研化学の製品・サービスと使用される用途

### 粘着剤



**用途** 光学フィルム・両面テープ  
タッチパネル部材 他

### 特殊機能材



**用途** 電子基板材料・印刷インキ 他

### 微粉体



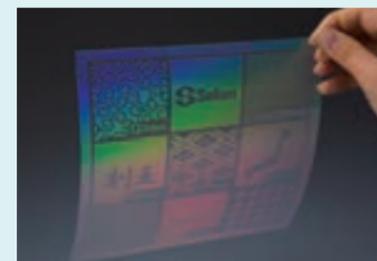
**用途** 照明用光拡散剤  
トナー添加剤・化粧品 他

### 加工製品



**用途** エレクトロニクス  
家電・建築 他

### ナノインプリント用モールド



ナノからマイクロオーダーの形状を成形加工するための樹脂および金属のモールド

### 装置・システム



綜研テクニクス株式会社が提供



## 地球への思いやりを 「開発」と「改善・工夫」に込めて

当社グループは、製品や生産技術の開発、生産設備の改善や工程の工夫などにより、環境負荷を低減する取り組みを定常的に行ない、地球環境の保全に向けた努力を続けています。今回はこれらの取り組みの一部をご紹介します。



### もっと地球にやさしい製品開発

粘着剤をはじめとしたケミカルズ分野では、各事業部門で環境負荷低減を目的とした製品開発を行なっています。

#### 粘着剤

#### 新しいポリマー設計による 「高固形分粘着剤(溶剤減量型)」

粘着剤の基となるアクリルポリマーの重合の際、新しい分子設計技術(RAFT重合)を取り入れることで、粘着剤の高固形分化を実現しました。製品における溶剤量を減らし、固形分(有効成分)を増やすことで、溶剤使用量の削減と製品輸送時のエネルギー削減に貢献します。

粘着剤では、この他に環境に配慮した製品として「シロップタイプ(無溶剤型)」「エマルジョンタイプ(水系)」「ノントルエンタイプ(トルエン不使用)」を開発しています。



#### 特殊機能材

#### 無溶剤型機能性アクリルポリマー「アクトフロー」

いろいろな生活用品に使われるプラスチック。そのプラスチックを柔らかくしたり硬くしたりと、性質を変える役割を果たすのが「アクトフロー」です。生活に密着するプラスチック添加剤だからこそ、環境に負荷を与える溶剤を使用しない開発にこだわりました。

特殊機能材では、アクトフローの他にも、より環境負荷を軽減したトルエンを使用しないタイプの製品などを開発しています。

#### 微粉体「ケミスノーMZシリーズ」

微粉体の製造は、たくさんの廃水が発生します。この点に着目したのが「ケミスノーMZシリーズ」です。水の使用量を減らした生産ができる製品を開発することで、廃水量の削減を実現しました。



#### 加工製品

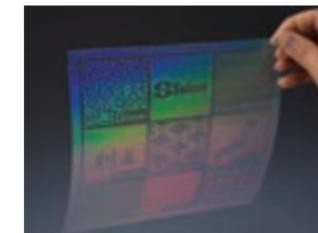
#### アクリルフォーム構造用両面テープ 「JETテープ」 「熱伝導性両面粘着シート」

建材や家電に使われる、アクリルフォーム構造用両面テープ「JETテープ」やパソコンや電子機器、家電などの熱を発生させる部分とヒートシンク(放熱板)の張り合わせに使用する「熱伝導性両面粘着シート」は、環境に負荷を与える有機溶剤を使用しない無溶剤型粘着剤を使用しており、生活に密着した用途で活躍しています。



#### エネルギーを大切に使う工夫 「ナノインプリント技術」 「色素増感太陽電池用色素」

光源カバーに微細加工を施すことで、照明の光を無駄なく透過させることができるなどの資源の有効活用に貢献できる「ナノインプリント技術」、次世代の室内発電として期待されている「色素増感太陽電池用色素」など、主要な技術以外にもさまざまな分野での開発に挑戦しています。



ナノインプリント用フィルムモールド



色素増感太陽電池用色素



## もっと地球にやさしい生産技術

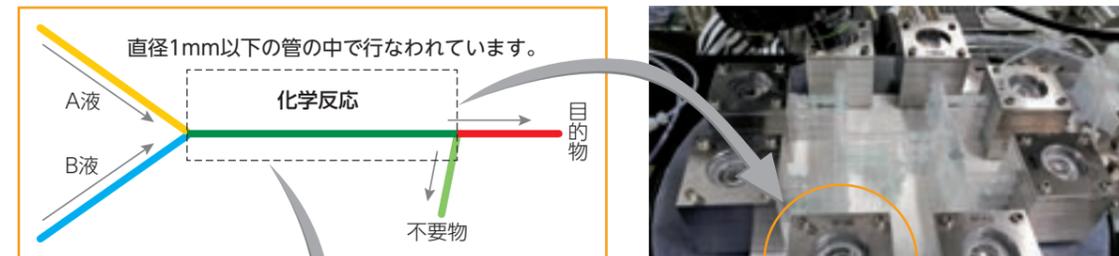
当社グループは、新規事業として取り組んできた電子ペーパー用ツイストボールや太陽電池向け色素のマイクロリアクターによる製造技術を確立し、現在、応用展開に向けて研究を進めています。

### 省スペース・省エネルギーで安全性の高い連続反応 「マイクロリアクター技術」

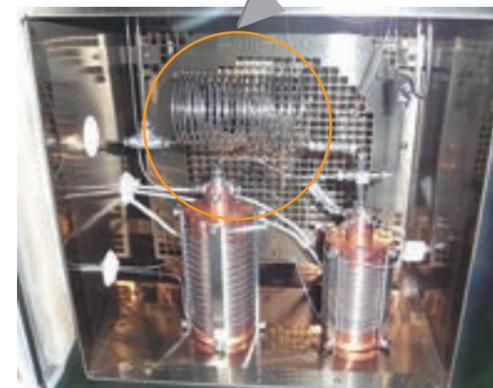
一つの製造単位(ロット)ごとに化学反応を行なうバッチ式生産とは異なり、流体の流れの中で連続して化学反応を行なっていくことを連続式生産といいます。中でも「マイクロ加工技術」の進歩に伴い、マイクロサイズで化学反応を起こし、製品を造るマイクロリアクター技術は近年高く注目されています。

マイクロリアクター技術は医薬品の新薬合成やマイクロ乳化による化粧品をはじめとしたファインケミカル、ナノ粒子材料の合成による電子情報・光学素子などへの素材の応用展開、生化学反応に応用した医療検査システム、レアメタル回収などの鉱業分野での応用など、さまざまな分野での活用が期待されています。

#### ■ マイクロリアクター型 連続式反応装置



電子ペーパー向けツイストボール製造用マイクロリアクター (手のひらサイズ)



太陽電池向け色素製造用マイクロリアクター (チューブ内径0.5mm)



## もっと地球にやさしい 生産設備の改善と工程の工夫

反応時間の短縮、容器の再利用、揮発性有機化合物 (VOC) の対応など、細かい改善や工夫にもグループ全体で取り組んでいます。

### 製造工程見直しにより 生産時間短縮

生産設備の能力等を把握しながら、その能力を有効に使用できるよう効率化の検討を継続して行なっています。2013~2014年度の成果として、移送温度や洗浄工程の見直し等を行なうことで、粘着剤の製造工程において、バッチ式生産プラントでの当初の反応時間を短縮し、エネルギー使用量の大幅な削減を実現しました。



### ドラム容器再利用で資源の有効活用

製品を納品する際のドラム容器には、ビニール内装を施して汚れを付きにくくし、納品します。後日回収し、洗浄後再利用しています。2014年現在、ドラム容器納品分のおよそ半分が再利用されて、資源の有効活用を推進しています。



### VOCは回収再生

国内外における揮発性有機化合物 (VOC) の排出に関する規制に対応するため、綜研テクノックスでは、VOCガスを冷やして液体として回収するVOC回収装置の設置を提案しています。回収したVOCは溶剤として再利用が可能です。



### 中国における環境への取り組み

中国での環境負荷低減への要求の高まりを受けて、中国のグループ会社も環境負荷低減に向けた工場の改善・工夫に積極的に取り組んでいます。

綜研化学(蘇州)は、2014年11月に工場内の蛍光灯1,050本をLED照明に変更しました。これにより、年間およそ136,000kWの電力削減効果が見込まれます。さらに、生産工程における洗浄方法の改善により、2014年は廃液量を2013年比20%削減しています。

また、寧波綜研化学では、2009年よりいち早くRTO廃棄ガス処理装置を導入し、廃ガスのVOC濃度低下に取り組んでいます。2014年は、導入時の2009年比でおよそ33%のVOC濃度低下を実現しています。

今回ご紹介した事例以外にも、地球環境に負荷を与えない新たな製品・技術の開発に継続的に取り組んでいます。2014年度の実績およびデータについては、[環境的側面のページ\(15-21ページ\)](#)でご紹介しています。

# 社会的側面

## お客様・お取引先の皆さまとともに

当社グループは、ケミカルズ製品の研究・開発のノウハウと、製品化・量産化するためのエンジニアリングの技術を活かし、お客様のニーズに高いレベルで迅速に対応することを目指しています。また、「お客様との信頼関係を大切にすること」を信念とし、お客様にとっての「一番身近な存在」であり続けたいと願っています。

### 品質方針

- 1 顧客満足度の絶えざる向上を目指し、品質マネジメントシステムの実践とその有効性を継続的に点検し、顧客の期待に応える魅力ある製品とサービスを提供します。
- 2 法令・規制要求事項の遵守は当然のこととして、顧客の品質に対する要求事項を満たすことが、顧客からの信頼を確保する上で重要であるとの認識を社内に徹底します。
- 3 品質方針と整合した品質目標を設定し、その見直しを含めた目標管理の仕組みを作り、実践します。

スローガン  
「高品質で拓け未来を！」

## お客様の声を社内で共有

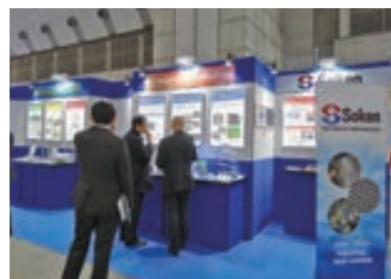
受注担当部門では、お客様から頂くご意見を真摯に受け止め、今後のサービスに活かす「VOC (Voice of Customer) 活動」を行なっています。要望、苦情、評価・激励を内容ごとに整理し、営業、品質管理、製造、配送など関連部署間で共有することにより、お客様満足度の向上を目指しています。



受注のミーティング風景

## 展示会・学会

新規事業製品の紹介や、従来品の機能拡大などのPRを中心に、国内外の展示会や学会に、積極的に出展しています。お客様との交流を図るとともに、新しい分野や用途の開拓に向けて、来場者の方々と情報交換を行なっています。



Nano Tech 2015 (東京ビッグサイト)



第13回ナノインプリント・ナノプリント技術国際会議 (ANAクラウンプラザホテル京都)

## 株主・投資家の皆さまとともに

当社グループは、経営理念に「株主の皆さまからの共感を実現していくこと」を掲げ、適時的確に企業情報を開示し、高い信頼性と透明性の保持に努めています。

## IR活動

### ディスクロージャーポリシー

当社は、金融商品取引法等の諸法令ならびに上場取引所の「有価証券上場規程」に定める会社情報の適時開示に関する規定に沿って、情報開示を行なっています。また、開示基準に該当しない情報につきましても、投資家の皆さまの理解の一助となると判断した情報は、積極的かつ公平に開示を行ないます。

情報の開示は、東京証券取引所のTDnet (適時開示情報伝達システム) を通じての公開後、速やかに当社ホームページに掲載します。それ以外の情報につきましても、当社ホームページへの掲載等により公開します。

経営の透明性を高め、企業の説明責任を果たすため、各種IRツールを通じて、株主・投資家の皆さまに情報をお届けしています。2014年度は、ホームページのリニューアルに際しIRページを見直し、株主の皆さまが目的の情報を、より探しやすい構成にすることを目標に工夫を行ない、新鮮な情報をいち早くお伝えすることに努めてまいりました。

また、中間、期末の決算発表後、投資家の皆さまと証券アナリストを中心とした説明会を開催し、事業活動の概況と見通しを説明しています。また、株主の皆さまにはビジネスレポート (株主通信) をお届けしています。

#### ■ ビジネスレポート

中間、期末の年2回、事業活動の概況をお届けします。



#### ■ FACTBOOK

投資分析に必要な情報を掲載しています。



#### ■ ホームページトップページ

迅速な情報開示を行なっています。



決算説明会



株主懇談会

## 株主懇談会

毎年定時株主総会後に、当社技術や製品を身近に感じていただけるよう、株主の皆さまとの懇談会を開催し、ご質問にもその場でお答えしています。

## 利益配分に関する基本方針

### ■ 配当金と株主数の推移



当社は株主の皆さまに対する利益還元を重要政策の一つと考え、事業拡大や技術革新に対応した設備投資および研究開発投資を行ない、海外展開による市場拡大と新製品・新技術の開発・量産化に努め、会社の競争力を維持・強化し、収益力の向上、財務体質の強化を図りながら、配当水準の向上と安定化に努めることを基本方針としています。

2014年度の利益配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、安定的な配当を行なうことが適切と考え、前年度配当と同額の1株当たり35円といたしました。

## 地域の皆さまとともに

当社グループでは、事業を通じた社会貢献と事業所が所在する地域との積極的な交流に努めています。

### 子供たちに科学の楽しさを伝えたい

子供たちの科学に対する好奇心と探究心を育むことを目的とし、綜研化学では、当社の技術を用いて身近な道具で楽しく実験を行なう理科教室を2008年度から開催しています。

2014年度は「高吸水性高分子」をテーマとし、狭山市内の小学校から集まった4年生以上23名を対象に、水を吸うプラスチックの実験としてカラフルな芳香剤を作りながら科学の不思議な世界を体験してもらいました。



### 理科教室の先生たちの感想

2年ぶりに開催された理科教室は入社1・2年目の社員が中心メンバーとなり、私はサポートとして参加しました。今回は初めて「化学」に視点を当て、「吸水性ポリマー」をテーマとし、興味が湧くような講義と楽しめる実験をゼロから作り上げました。理科教室当日、子供たちが楽しそうに目を輝かせて参加する姿を見ることができました。理科教室を通して少しでも子供たちが理科に興味を持ってもらうことも大切ですが、我々仲間同士で1つのテーマを作り上げるチームワークの面白さを再認識できました。

生活用品の素材として多く使われる合成樹脂は、科学の力によって作られています。子供たちに科学を身近に感じてもらうため、今回はオムツなどに使われている「吸水性ポリマー」をテーマとしました。

子供たちは楽しそうに実験に取り組んでくれ、無事に教室を終えることができたのは地域の皆さまとスタッフの協力のおかげです。小学生が理解できるように資料作成や実験内容を工夫しましたが、逆に自分の知識を深めることにも繋がり、とても貴重な経験ができました。この理科教室で、少しでも子供たちが科学を好きになってくれたら幸いです。



綜研テクニクス  
設備技術部 プロセスG  
武井 正幸



粘着・機能樹脂部  
技術G 樹脂開発T  
青山 標

### 地域交流&ボランティア

地域交流を兼ねて、地域イベントやボランティア活動に参加しています。



入間川クリーンボランティア



御前崎市駅伝大会



焼津みなとマラソン



埼玉県入間市の万燈まつり  
新規事業部が作製したマイクロメートル（1000分の1mm）の凹凸構造を有するフィルムを  
行燈材料として提供しました。

### インターンシップ生の受け入れ

社会貢献活動の一環として、インターンシップ生を受け入れています。



#### インターンシップ生の声 明治大学 鈴木 宗次朗さん

1週間と短い間でしたがお世話になりました。初めてのインターン、初めてのデスクワークなど知らないことばかりで緊張しました。私自身どこまでやれるか自信がなく、会社（仕事）に対する恐怖もありました。しかし、実際に作業することでコツを掴み、思った以上の結果が出せたと考えています。このインターンシップはとても良い経験になり、私に勇気と自信をくれました。これから就職活動が忙しくなりますが、今回のように頑張っていきたいと思います。

### 学生向けの事業所見学を開催

就職を考えている、高校生や大学生に化学産業への理解と興味を深めてもらうために積極的に事業所見学を受け入れています。

### 緊急時の地域支援

狭山事業所では、近隣の皆さまが大規模地震・大型台風・竜巻等の天災により住居被害を受け、避難ケースが生じた場合、建物の一部を避難場所としてご利用いただけます（毛布などもご用意しています）。また、構内の上水タンクの水140トンを飲料水として提供することが可能です。

浜岡事業所では、地元御前崎市および近隣の牧之原市の消防団協力事業所認定を受けています。緊急時、消防団員所属の従業員は、地元消防活動を優先して行ないます。



狭山事業所

### 地域住民の皆さまにご安心いただくために

緊急・災害時の対策として、各事業所で自衛消防隊を組織しています。防災訓練では地元消防署の指導のもと、避難経路および初期消火手順の確認と、実際の消火訓練も行なっています。工場のある狭山事業所と浜岡事業所では年2回（春・秋）実施しています。



浜岡事業所

### 浜岡事業所の活動

#### 優良事業所として表彰

一般社団法人「静岡県危険物安全協会連合会」は、消防法に基づく危険物に起因する災害防止を図り、危険物取扱者等の資質の向上を促進する活動を行なっています。

2014年9月に開催された平成26年度創立記念大会にて、浜岡事業所が保安功労等に努めた事業所として「優良事業所賞」を受賞しました。



#### 地域の安全衛生教育に協力

毎年、御前崎市商工会によるフォークリフト運転技能講習の実技講習会場として事業所内の敷地をお貸ししています。走行や安全確認などの実技を通して、安全衛生教育に協力しています。

## 従業員とともに

経営理念に定める「働く喜び」の実現を達成するために、「働きやすさ」を実感できる職場を目指して、さまざまな制度や取り組みを設けています。

### 従業員の心と身体の健康を支える体制づくり

#### 産業医による講演

従業員が持てる力を職場で発揮するためには、健康の維持が欠かせません。産業医による定期的な講演会を通して、日ごろの健康管理を呼びかけています。



本社産業医 めじろ内科クリニック  
久野 伸夫先生

#### ストレスチェックと国内全事業所でのカウンセリング

身体とともに心のケアも重要な要素です。全従業員を対象に年に1回アンケートによる「ストレスチェック」を行ない、自身のストレス状態を把握する一助としています。また、全事業所に専門のカウンセラーに相談できる体制を設け、心の健康をサポートしています。

### 仕事と家庭生活の充実を支援する制度

ワークライフバランスの向上を目指し、厚生労働省が定める次世代育成支援対策推進法に基づいて、次世代育成支援のための行動計画を実施しています。

目標(第2期 2013年11月1日～2015年10月31日)	施策
効率的な仕事、付加価値の高い仕事への改善で総労働時間を削減する 達成目標: 総労働時間 年1,800時間	総労働時間の削減に向けた主な取り組み ● 残業時間の社内公開 ● Web就業管理システムにより、各自タイムリーに働いた時間や休暇取得状況を確認できる ● 有休休暇取得促進 ● 月2回、定時退社の実施
子を持つまたは要介護者を持つ従業員が働きやすい職場環境の整備	従業員の働き方を支援する主な取り組み ● 育児や介護支援のための制度の周知と利用した従業員の紹介

#### 育児休業取得者の声

2014年3月に娘を出産したため、産前・産後、育児休業を取得しました。休業中は、部署内外の皆さんに負担をかけていることや、復職後の不安もありましたが、会社の休業制度が整っていることや、皆さんのご協力のおかげで、安心して育児に専念することができました。また、既に制度を利用している先輩ママ・パパが多いこともあり、とても心強く感じていました。

2015年4月より娘を保育園に預けて復職しました。現在は、育児短時間勤務の制度を利用し、仕事と育児の両立がしやすい環境にいただいています。

育児休業期間の出来事は、私にとって、かけがえのない経験になりました。ぜひ男性も積極的に休業制度を利用できるようになればいいと感じました。

微粉体部 粉体生産管理G 品質管理T 石塚 貴子

今後は、休暇の取得が多くなりそうなので、会社の制度が充実していることは、非常にありがたいです。

微粉体部 粉体技術G 製造技術T 石塚 正和



# 環境的側面

## 環境負荷低減のための活動

当社グループは経営理念の一つに「環境保全を指向しつつ社会に役立つ革新的製品を提供する」を掲げ、自主的、積極的に環境への配慮を考えた企業活動を行なっています。

### 環境方針

綜研化学グループは、独創的な研究開発・技術を追求する研究開発型企業として、粘着剤、微粉体、特殊機能材等の高機能ケミカルズ、それを応用した加工製品および装置関連事業等の事業領域で、環境保護を指向した製品を開発し、生産・販売活動に努めます。社員一人ひとりが地球環境に配慮した企業活動を行ない、環境保全に努め、社会に貢献します。

### 基本方針

- 1 全員参加のもとに環境保全活動を進め、継続的な改善と環境汚染の予防に努めます。
- 2 関連する法令等の要求事項を遵守するとともに、高い倫理観と良識をもって社会的責任を果たします。

### 行動指針

- 1 事業活動や製品が環境に与える影響を評価し、環境改善の目的および目標の設定と、見直しを含め環境改善を進めます。
- 2 省エネルギー活動を主体とした「地球温暖化防止」と3R(リデュース、リユース、リサイクル)による「資源の循環」に取り組みます。
- 3 化学物質による汚染の防止など、環境リスクの低減に努めます。
- 4 環境にやさしい製品の開発に努めます。

2015年3月12日  
綜研化学株式会社



## 環境中期計画

2005年に策定した第一次環境中期計画以来、環境保全活動を推進しています。東日本大震災の影響が色濃く残る2012年には、それまでの結果をもとに第三次環境中期計画を三カ年計画として策定しました。2014年度は、その最終年度にあたり、各サイトにおいて目標達成に向けて取り組んできました。

### 第三次環境中期計画

	中期目標	2014年度目標	2014年度実績	評価
環境配慮型製品 売上高比率向上の推進	売上高比率 25%	売上高比率 25.0%	売上高比率 15.0%	×
地球温暖化防止の推進				
(1)粘着剤製品・機能材製品	環境効率* 8.45	環境効率 8.45	環境効率 9.14	○
(2)微粉体製品	環境効率 0.27	環境効率 0.27	環境効率 0.31	○
(3)加工製品	環境効率 0.47	環境効率 0.47	環境効率 0.96	○
(4)非生産部門	CO <sub>2</sub> 排出量 1,420t	CO <sub>2</sub> 排出量 1,420t	CO <sub>2</sub> 排出量 1,737t	×
化学物質による汚染防止 および環境リスクの低減	①臭気・揮発性有機化合物 (VOC)および粉塵対策の実施 ②騒音、振動発生源対策の実施	・臭気・VOCの排出抑制 ・騒音、振動リスクの削減	・地下タンクへのVOC排出抑制 配管の設置(浜岡) ・排水社内処理設備の 検討(狭山) ・粘着剤生産工場の省エネルギー 対策(浜岡)など	○

\* 環境効率 (CO<sub>2</sub>排出量1tあたりの生産量(t)を表します。) 評価：○達成 ×未達成

$$\text{当社グループの環境効率の指標} \quad \text{環境効率} = \frac{\text{生産量} \cdots \text{グループ内生産量} : (\text{単位} \text{ t})}{\text{生産時の環境負荷} \cdots \text{CO}_2 \text{排出量} : (\text{単位} \text{ tCO}_2)}$$

第三次環境中期計画の重要課題3項目のうち「地球温暖化防止の推進」の環境効率、「化学物質による汚染防止および環境リスクの低減」は各施策の実施により2014年度の目標を達成できました。その反面、「環境配慮型製品売上比率向上の推進」は機能材製品、微粉体製品および加工製品の環境配慮型製品の売上高が計画を大きく下回ったことで未達成、「地球温暖化防止の推進」では研究開発部門に導入した試験機器類の稼働率が增大したため、非生産部門のCO<sub>2</sub>排出量は未達成となりました。

### マテリアルフロー

マテリアルフローは、事業活動に対する資源やエネルギーの投入量 (INPUT)、製品の生産量と環境負荷物質の排出量 (OUTPUT) の関係を表したものです。当社グループの環境負荷の全体像を示しており、これらの結果をふまえ、より一層の資源の有効活用を進めます。



## 環境マネジメントシステム

当社グループの環境マネジメントシステムへの取り組みは、2002年3月の狭山サイトの認証取得から始まり、すでに13年が経過しました。それぞれの活動単位である本社・狭山・浜岡の各サイトでは環境負荷低減を目的とした活動に取り組んできました。

### 統括環境管理責任者より

2014年度は環境保全に関して、環境中期計画最終年としてサイト独自の発案や工夫を高めて廃棄物削減、資源循環、省エネなどに取り組みました。狭山サイトでの空調電気使用量の削減や廃棄物減量化、浜岡サイトでの廃棄物のリサイクルや電気使用量削減に向けた運転方法の見直し等、成果とともに活動推進の新たな方向性も見つけてきています。

2015年度はISO規格改訂への対応に着手する年となりますが、今後もトップダウンの環境マネジメントシステムとボトムアップの改善活動 (小集団活動) の双方をツールとして活用し、環境保全活動を推進してまいります。

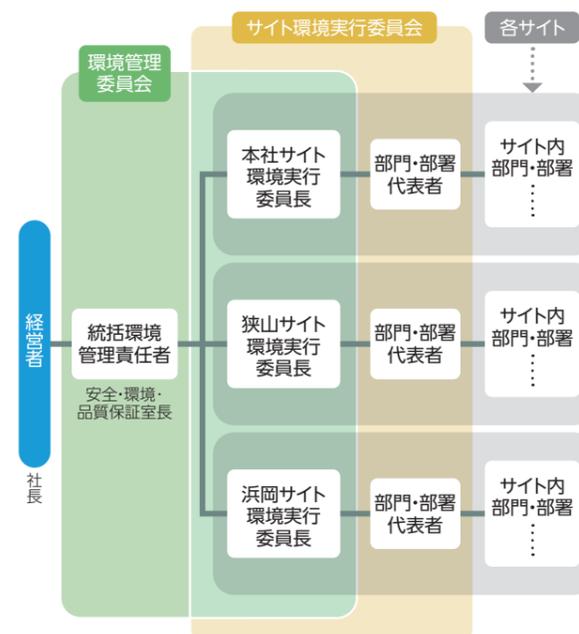
執行役員 安全・環境・品質保証担当 **山田 英雄**



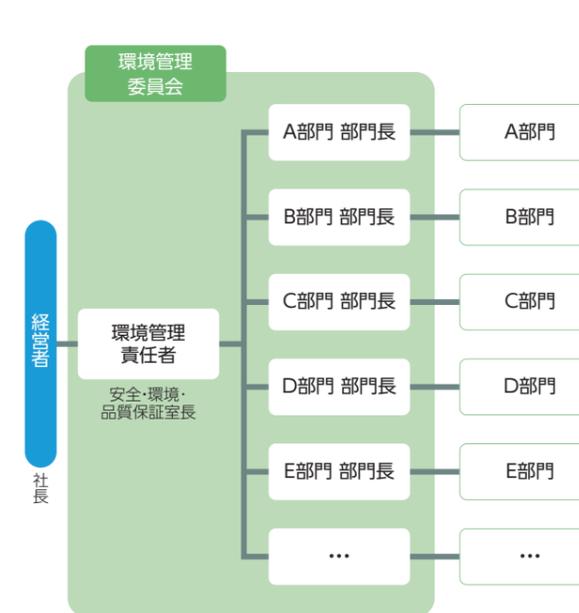
### 環境マネジメントシステムの推進体制

これまで、当社グループの国内事業拠点の本社、狭山、浜岡サイトを活動単位として、それぞれの特性に応じた独自の活動を展開してきました。2015年に実施されるISO14001の規格改訂を見据え、2015年4月より推進体制をサイト制から部門制に変更しました。これは、規格改訂で追加される要求事項の「組織の事業プロセスへの環境マネジメントシステムの統合」に合致するものです。環境マネジメントシステム全体の管理は、経営者の社長から任命された環境管理責任者が行ない、各部門長が活動の方向性を定め、環境活動を推進していきます。

#### 環境マネジメントシステム推進体制(旧)



#### 環境マネジメントシステム推進体制(現行)



## 環境マネジメントシステム

### ● 環境苦情\*1 (総発生件数 1件: 狭山サイト)

設備完成時の監督官庁確認において、有機溶剤使用に係わる表示不足の指摘がありました。これは、労働安全衛生法に関する理解不足によるもので、浜岡サイトも含め内部監査を活用し、表示の徹底ならびに法令で要求される内容の徹底を行ないました。

#### \*1 環境苦情

近隣住民の皆さま、お客様、お取引先様、行政等からの環境に関する指摘(当社は「環境関連法」として特定した法規に基づき、行政等から受けたすべての指導・指摘を苦情に含めております。)を指します。

### ● 環境不適合\*2

(総発生件数 3件: 狭山サイト1件、浜岡サイト2件)

狭山サイトでは、労働安全衛生法に関する不適合でした。法令の改正内容の誤認に基づく設備設置届の提出遅延であり、法令改正動向を掌握する責任部署への再教育と届出をチェックする仕組みを強化しました。

浜岡サイトでは、労働安全衛生法と水道法に関わる不適合が各1件でした。1件は健康診断実施の間隔に一部不備があり、健康診断実施時期の見直しを即時行ないました。

また、1件は給水管の不適切な接続で、休止中の配管であり、今後も使用予定がないため、閉止処置を行なうとともに、工事基準の見直しおよび関係法令の再教育を実施しております。

#### \*2 環境不適合

環境マネジメントシステムで定めたルールに違反していることを指します。環境不適合が発生した場合も、環境苦情と同様に原因の究明、再発防止対策を実施しています。

### ● 廃棄物削減・資源循環の推進

2009年度に達成したゼロエミッション\*3を2014年度も継続しています。再資源化率は2010年度に引き続き99.9%を維持しています。

廃棄物の総発生量は4,988tで、対前年度比9.9%増でした。内訳では廃水が減少しており、水の使用量が少ない微粉体製品の開発の効果と考えています。一方、廃溶剤については増加しており、回収溶剤を増やすなど対策が必要となっています。今後もゼロエミッション継続と廃棄物の総発生量の削減に取り組みます。

#### \*3 ゼロエミッション

綜研化学グループでは、「事業活動で生じた全廃棄物のうち、最終的に埋立処分となる廃棄物量を1%以下とすること」と定めています。

#### ■ 廃棄物量と再資源化率



## 環境配慮型製品

当社グループでは、環境配慮型製品\*4の開発と提供に取り組んでいます。2014年度は全製品中の売上高比率25.0%を目標に活動しました。

2014年度の売上高比率は15.0%とほぼ前年並みで、目標は未達でしたが、粘着剤、機能材製品のトルエン不使用品が好調でした。今後、既存の環境配慮型製品に加え、有機半導体ポリマー「ペラゾール®」をはじめとした新しい環境配慮型製品の開発を進め、お客様へのご提案を行なっていきます。

#### \*4 環境配慮型製品

地球温暖化防止、化学物質による汚染防止、環境リスク低減、資源循環、自然エネルギー・非枯渇資源の活用など地球環境の保全と社会の持続的発展に貢献する一連の製品群です。

- 粘着剤** SKダイン®シロップタイプ(無溶剤型)、エマルジョンタイプ(水系)、ノントルエンタイプ(トルエン不使用)、高揮発分タイプ(溶剤減量型)
- 特殊機能材** アクトフロー®(無溶剤型樹脂改質剤)、トルエンフリーサーモラック(トルエン不使用)
- 加工製品** JETテープ®(無溶剤型粘着剤を使用した粘着テープ)
- 微粉体** ケミスノー®MPシリーズ、MZシリーズ
- 装置システム** 熱媒ヒーター、VOC回収装置

#### ■ 環境配慮型製品売上高比率



### ■ 将来に向けた取り組み

#### ■ 有機半導体ポリマー ペラゾール®HTシリーズ

ペラゾール®HTシリーズは、独自の重合技術により、分子量を自由に調整できる有機半導体材料です。分子量を任意に設定することができるので、従来は困難であった低温での塗布プロセスが可能となり、未来型の環境発電で有望視されている有機薄膜太陽電池の発電層などへの応用が期待されています。



研究開発センター材料技術開発室 磯部 徹

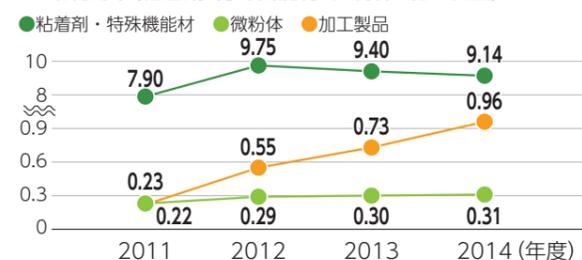
## 地球温暖化防止

設備の運用管理や更新、再生可能エネルギーの導入等で地球温暖化防止活動を推進しています。第三次環境中期計画では、評価指標として、生産部門はアイテム毎の環境効率(生産量/生産に関わるCO<sub>2</sub>排出量)で、直接生産に関わらない非生産部門はCO<sub>2</sub>排出量で評価しています。

### ● 環境効率とCO<sub>2</sub>排出量

粘着剤・機能材の環境効率は前年度よりやや低下、微粉体は前年並み、加工製品は前年度より向上しました。加工製品は生産量が増加するとともに、工程上のムダを省いた結果、CO<sub>2</sub>削減ができたため0.73から0.96になっています。非生産部門のCO<sub>2</sub>排出量は1,860tから1,737tと減少しました。

#### ■ 環境効率(粘着剤・特殊機能材、微粉体、加工製品)



#### ■ 非生産部門のCO<sub>2</sub>排出量



### 2014年度の取り組み事例

#### ■ 厚生棟の遮熱フィルムの施工 (狭山サイト)

製造グループ員の休憩室等がある建屋の天井裏に遮熱フィルムを施工しました。夏場の強い日射の影響が和らぎ、休憩室内の環境改善につながっています。また、空調の電気使用量の削減にもつながっています。



総務人事部狭山総務G長 平川 範範

#### ■ ドラム用パッキンの資源循環 (浜岡サイト)

ドラム容器洗浄作業時に発生する廃パッキンについて、これまで焼却処分としていましたが、ゴムベルトやゴムロープに再生できる委託先を見つけることができ、引き取ってもらうことで資源循環を実現しました。



樹脂生産部浜岡工場業務T 内海 泰紀

#### ■ 設備点検の強化による漏えい事故防止 (浜岡サイト)

生産設備の老朽化に伴い、原料、製品などの漏えい事故の発生リスクが高まりますが、バルブのパッキンなどの交換を早め実施することで事故防止に努めています。



樹脂生産部 浜岡工場製造1G 堤 航平

#### ■ 冷却水ピット槽への補給水ポンプの廃止 (浜岡サイト)

当初、冷却水には井戸水を使用予定でしたが、水質に問題があり、井戸水貯留槽には上水を供給していましたが、今回、冷却水ピット槽へ上水供給ラインを接続して井戸水貯留槽のポンプを廃止し、電気使用量の削減につなげました。



綜研テクニクス(株) メンテナンス・サービス部 浜岡SC 田中 将成

# 化学物質による汚染防止および環境リスクの低減

周辺環境に配慮しながら安全な事業活動を継続するために、関連法規制等の遵守に加え、化学物質を適切に取り扱うことで環境中への放出を防止しています。また、事業活動に伴い発生する騒音、振動を抑制するための対策を実施し、環境リスクの低減を図っています。

## PRTR対象物質\*

2014年度に取り扱ったPRTR対象物質は、排出量11t(前年度12t)、移動量60t(同68t)となりました。排出量、移動量とも前年度とほぼ同レベルで推移しています。

\* PRTR対象物質  
PRTR制度(化学物質排出移動量届出制度)に基づき、排出量、移動量の届出が義務付けられた化学物質のことをいいます。

## 製品SDS(安全データシート)の提供

製品をお客様に安全にご使用いただくため、全製品のSDSを提供しています。今後の規制強化に伴う法令改正、新たな危険・有害性情報を迅速に反映できるようSDS管理システムを導入して運用しています。

## 騒音・振動対策

法的基準値内の維持継続のため、騒音発生源の緩和・遮蔽、騒音発生作業の見直し、工実施前の環境影響評価による予防措置を実施しています。また、工場北側の敷地境界線の騒音測定を実施し、騒音規制基準値(区域区分4種)以下であることが確認できました。

## VOC(揮発性有機化合物)・臭気対策

有機溶剤による臭気漏洩、大気汚染を防ぐため、VOC発生源の遮断、脱臭設備の増強などの対策を進めています。狭山サイト地下タンク原料への脱臭配管の設置による臭気の低減、浜岡サイト地下タンク原料の配管合理化による曝露防止を行ないました。

### 2014年度の取り組み事例

#### 夜間の敷地境界騒音測定(狭山サイト)

狭山サイトの周囲は住宅が立ち並び、環境に配慮した事業活動が要求されます。事業所の敷地境界に測定機器を設置して騒音測定を行ない、夜間の騒音レベルの監視を続けています。



総務人事部 狭山総務G  
笹田 和伸

#### 塗装頻度低減で資源の有効活用(浜岡サイト)

海に近い立地環境なので塩害対策も必須です。従来の塗料に比べ耐食性(耐塩水性)に優れた無溶剤型の塗料を倉庫のシャッターに使用し、塩害対策を行なうとともに、塗装頻度も低減され、資源の有効活用にもつながっています。



樹脂生産部 浜岡工場  
物流G配送T  
中村 樹人

#### 地下タンクの配管に脱臭装置設置(狭山サイト)

地下タンクに新規原料を貯蔵することが決まりましたが、特殊原料のため、脱臭装置を設置しました。これにより、受け入れ時に排出される有機ガスはこれまで通り抑制される見込みです。



樹脂生産部 生産管理G  
狭山業務T  
内藤 俊一

#### 廃棄物の削減(浜岡サイト)

粘着剤の添加剤として同時に出荷される硬化剤は、小分けするときにプラスチック製の計量カップを使用していたが、簡易式の計量カップに変更することで廃棄物(廃プラスチック)量を約5%削減することができました。



樹脂生産部 浜岡工場  
物流G 硬化剤T  
大橋 可奈子

# サイトデータ

## 狭山サイト

狭山サイトは環境配慮型製品をはじめとした製品の開発・製造を行なっています。周囲には住宅が立ち並び、周辺環境に配慮した事業活動が要求されています。

サイトでは廃棄物削減、CO<sub>2</sub>排出量削減の施策を進めており、微粉体の生産工程で発生する排水について、排水減量設備を導入し、廃棄物の減量にも取り組んでいます。廃棄物を減量することで輸送時に発生するCO<sub>2</sub>排出量削減につながっています。

今後も、環境負荷低減につながる取り組みを継続してまいります。



狭山サイト全景



樹脂生産部次長  
(狭山サイト  
環境実行委員長)  
関口 勉

■ 事業所設置	1961年
■ 敷地面積	28,795㎡
■ 所在地	埼玉県狭山市広瀬東1丁目13番1号
■ 主な事業内容	粘着剤、微粉体、特殊機能材、加工製品の開発、製造およびプラント用装置の開発



## 浜岡サイト

浜岡サイトは、量産工場・物流拠点としての役割を担い、お客様に高品質な粘着剤・特殊機能材製品を提供しています。

サイトでは、従業員一丸となり資源循環、省エネを進め、生産に関するあらゆる工程でこれまでとは少し違う着眼点で作業等を見つめ直し、「資源循環」「省エネ」というキーワードを念頭に置き、活動しています。

今後も資源循環、省エネルギーを推進し、環境にやさしい事業所を目指します。



浜岡サイト全景



樹脂生産部 浜岡工場長  
(浜岡サイト  
環境実行委員長)  
近藤 秀明

■ 事業所設置	1992年
■ 敷地面積	46,869㎡
■ 所在地	静岡県御前崎市池新田8665番1号
■ 主な事業内容	粘着剤、特殊機能材の製造

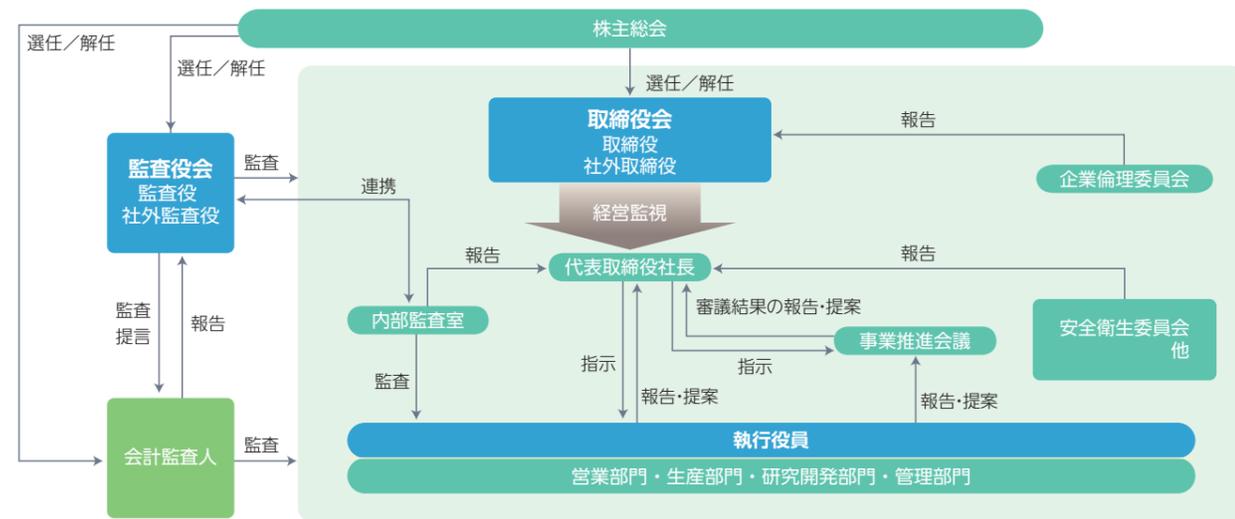


# コーポレート・ガバナンス

当社グループは適切な企業統治の推進・徹底を図ることにより、企業としての社会的責任を果たし、関係する皆さまから信頼していただけるよう努めていくという基本方針の下、必要となる体制やシステムを整備するとともに、その改善にも継続的に取り組み、適正かつ効率的な経営の確保に努めています。

## コーポレート・ガバナンス体制

■ コーポレート・ガバナンス体制図



■ 運用状況の概要

- 業務執行につきましては月1回の定例取締役会の他、必要に応じ機動的に臨時取締役会を開催し、法令で定められた事項や経営に関する重要事項を決定するとともに、業務執行の状況を逐次監督しています。また、経営の重要事項を審議し、経営意思決定の迅速化・的確化を図るため、執行役員を構成員とした事業推進会議を月1回以上開催しています。
- 内部監査室(専任3名)は、内部統制の妥当性を監視することを目的として、法令・規程類の遵守状況、リスク管理状況、会社財産の保全状況、業務活動の効率性を確認するために、日常の業務遂行に関し、全部門および関係会社を対象に各種社内規程の遵守状況に関する監査ならびに業務監査を計画的に実施し、その結果をトップマネジメントに報告すると同時に、被監査部門に対し、必要な改善事項の指摘・指導を行ない、その後の進捗状況をフォローしています。
- 法令遵守体制の充実・強化のため、倫理綱領およびそのガイドラインを制定し、関係会社を含め適切な運用と実践に努めるとともに、企業倫理委員会を設置し、代表取締役社長を委員長として定期的に会議を開催し、日常的な法令遵守状況のチェック、取締役会への報告、改善のための提言を行なっています。
- 安全衛生委員会等それぞれの分野で委員会をもち、側面からコーポレート・ガバナンスの充実に寄与しています。
- 監査役は会計監査人および内部監査室と連携をとり、監査の効率と精度の向上に努めています。会計監査につきましては、法令に適合した会計処理のため、専門監査法人による監査を受けており、その適正性を確保しています。

## 内部統制システムに関する基本的な考え方およびその整備状況

2006年5月15日の取締役会において「内部統制システム構築の基本方針」を決議し、法令遵守体制の強化、リスクマネジメントの推進、規程の見直し等の体制の整備・充実に取り組むとともに、その進展や状況に応じて、取締役会の決議により必要な改訂を行なっており、2015年6月23日現在は、以下の9項目に取り組んでいます。

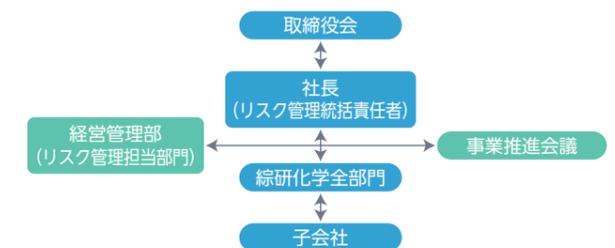
### 取り組み項目

- 1 取締役および従業員の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
- 2 取締役の職務の執行に関する情報の保存および管理に関する体制
- 3 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- 4 取締役の職務の執行が効率的に行なわれていることを確保するための体制
- 5 当社およびその子会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制
- 6 財務報告の信頼性を確保するための体制
- 7 監査役の適正監査を確保するための体制
- 8 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項および使用人の取締役からの独立性に関する事項
- 9 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方およびその体制

## リスクマネジメント

取締役会は、事業目的の達成を後退させ、企業イメージの低下、信用の失墜、経営資源の損失等を招き、企業価値を損ねる可能性があるリスクについて「リスク管理規程」に則り適切な管理体制を整備するとともに、その運用・評価・改善に努めています。なお、重大な危機が生じた場合には社長を本部長とする対策本部を設置し、対応を行なうこととしています。

■ リスク管理体制図



## コンプライアンス

法令遵守体制の基礎として、「倫理綱領」「コンプライアンス規程」「企業倫理委員会規程」を定め、その遵守徹底を図るため、全役職員がCSRカードを携帯し、合わせて啓発教育を実施しています。



## 内部通報・相談窓口

従業員等からの通報または相談による、法令違反・不正行為等不祥事の早期発見、予防および再発防止のための内部通報制度を確立し、運用しています。通報者本人の保護や匿名性を確保するなどして、自浄能力の維持・向上に努めています。

コーポレート・ガバナンスの詳細は、当社ホームページに掲載しています。  
HP ▶ <http://www.soken-ce.co.jp/company/governance.html>